

國際法外交雜誌

第十六卷 第一號

昭和四十四年七月二十日發行

論 說

慣習的自衛權の再吟味(一)

——東京裁判にあらわれた自衛權論議を起点として

「補償法論」におけるグロティウスの正当戦争論(二)

——國際法學說の研究——

一 又 正 雄

資 料

アメリカ衝突法判例研究(七)

アメリカ國際私法研究会

紹 介

Albert A. Ehrenzweig, Sueno Ikehara and Norman Jensen: American-Japanese Pri-

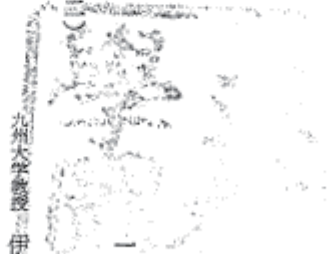
vate International Law, 1964 (山田謙一) 川上太郎著「國際私法概論」(山本敬三)

Howard J. Taubenfeld, ed.: Space and Society, 1964. Maxwell Cohen, ed.: Law

and Politics in Space, 1964. (坂田正義)

会 報

昭和四十四年度國際法学会春季大会



國際法外交雜誌

第十六卷 第二號

昭和十四年九月三十日發行

論說

調停と裁判についての問題

慣習的自衛権の再吟味(二)

——東京裁判にあらわれた自衛権論議を起点として——

一又正雄

資料

アメリカ衝突法判例研究(八)

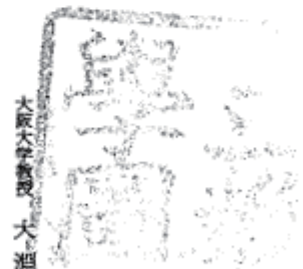
アメリカ國際私法研究会

紹介

田岡良一著「國際法上の自衛権」(伊藤不二男) 金田近二編「國際經濟条約集」(佐藤和男)

Masataka Banno: China and the West, 1858—1861, the origins of the Taungti

Yaman, 1964 (野村善一)



大阪大学教授 大淵仁右衛門

國際法外交文誌

第六十四卷 第三號

昭和四十四年一月二十五日發行

論 說

強行的法規の特別連結論について (一)

折 茂 豊

國際連合憲章と國際政治

芳 川 俊 憲

資 料

アメリカ衝突法判例研究 (九)

アメリカ國際私法研究会

紹 介

Festschrift für Herbert Kraus, Recht im Dienste der Menschenwürde, 1964. (小田

滋、嘉納孔、川上太郎、窪田泰)

高野雄一編著「判例國際司法裁判所」(皆川洗)

Bernard B. Fall: The Two Vietnams—A Political and Military Analysis, rev. ed., 1964 (會村保信)

桜井光彦著「國際文化政策」(内山正徳)

Sadako N. Ogata, Defiance in Manchuria: The Making of Japanese Foreign Policy, 1931~1932, 1964. (渡藤謙吉)

國際法外交雜誌

第四五合併號 第四十六卷

昭和四十四年三月三十一日發行

日韓關係の研究

論說

日韓關係史

日韓基本條約

文化財・文化協力協定

日韓漁業協定

竹島紛争

にわゆる法的地位協定上の永住許可申請方法
に關する問題點

附録

一 公文書

二 日韓關係年誌

會報

昭和四十四年度國際法学会秋季大會

東京大学名誉教授

植田捷雄

東北大学教授

祖川武夫

専修大学教授

池田文雄

慶応大学教授

中村 洸

京都大学教授

太寿堂 鼎

一橋大学助教授

妹嶋 準一

国学院大学助教授

関野 昭一

國際法外文雜誌

第六卷 第四十六號

昭和四十四年六月二十五日發行

論 說

國際判決の執行をめぐる諸問題

日本大学助教授

深津 栄一

多数州際的名譽毀損の概法問題

——マスコミによる場合——

法政大学助教授

砂川 恵伸

資 料

わが国の裁判所における國際法適用の諸先例(十二)

東北大学教授

祖川 武夫

東北大学教授

小田 滋

マクドゥーガルの法政策学説——Policy-Oriented Jurisprudence——の概要とその諸批判の妥当性

西南学院大学講師

大内 和臣

紹 介

伊藤不二男著「ビトリアの國際法理論——國際法

学説史の研究——」

東洋大学教授

大沢 章

会 報

名誉理事長山田三良博士の訃(写真巻頭)その他